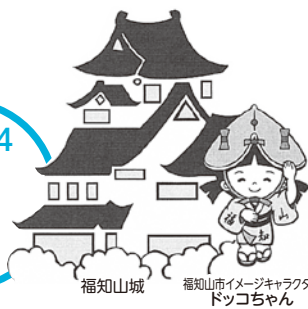


ふくちやまし

議会だより

2024
5



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■令和6年5月発行 No.144



もう一つの卒業式

※関連記事…P20「元気で福知山!!」で紹介しています。

市議会ホームページの
アクセスはこちらから



令和6年度「幸せを生きる新時代・福知山づくり浸透予算」

予算審査委員会での審査 4～7

市民の皆さんからの請願や議案に対する討論 8～11

ここが聞きたい！ 3月定例会

代表質問 各会派から7議員が登壇 13～16

- ◇「まちづくり構想 福知山」の実現に向けた
令和6年度「幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算」可決
- ◇国の補正予算(デフレ完全脱却のための総合経済対策)への対応
安心・安全な教育環境の確保に向け、小・中学校の施設改修・環境
改善事業などを迅速に可決

2月26日から3月27日までの31日間にわたって3月定例会を開催しました。この定例会では、国による総合経済対策などの補正予算や、「幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算」である令和6年度当初予算など45議案が市長から提案されました。予算審査委員会では、国の補正予算などの対応を2月28日に、令和6年度当初予算などは、3月8日から13日まで所属別質疑を行い、集中的に審査を行いました。条例などの議案は、各所管別委員会において審査を行いました。

その結果、本会議において、42議案が全員賛成、3議案が賛成多数でそれぞれ原案どおり可決しました。

人事案件については、人権擁護委員の候補者の推薦の2議案に同意しました。請願については、5件が提出されましたが、3件が採択、2件が不採択となりました。また、議員提案の「福知山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定」を可決、同じく議員提案の「福知山市新文化ホール整備事業に関する住民投票条例の制定」は否決しました。

意見書については、「介護・障害福祉従事者の処遇改善と人材確保を求める意見書」など2件を可決しました。

また、議員から議長不信任決議案が提出され、可否同数のため副議長の裁決により否決となりました。

会派代表による代表質問は、3月5日、6日の2日間で行われ、7人の議員が質問を行いました。

3月定例会で決まった主な案件

令和6年度当初予算

◇一般会計予算	(万円未満切捨) 461億7000万円
◇特別会計(9会計) 予算	182億8283万円
◇企業会計(3会計) 予算	342億1370万円

令和5年度補正予算

◇一般会計予算・特別会計(2会計) 予算	3億9811万円
・小学校施設改修事業、小・中学校施設環境改善事業 (小学校体育館照明器具のLED化工事、小・中学校の便所改修工事)	1億4649万円
・林道施設災害復旧事業(令和5年台風第7号により被災した林道施設の復旧工事)	3142万円
・公共交通維持改善事業(民間バス事業者および自主運行バス事業者への補助)	7877万円
・自立支援給付(障害福祉サービス等) 事業(障害者総合支援法に基づく自立支援給付の増額)	1億5517万円
・除雪関連事業(除雪費用の増額)	8330万円

条例

- ◇福知山市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定
- ◇福知山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正 ほか

その他

- ◇「第2次福知山市自殺対策計画」「福知山市スポーツ推進計画(中間評価・見直し)」の策定
- ◇工事請負契約の変更(六人部地域公民館・体育館大規模改修工事)
- ◇物品の取得(小学校教師用指導書)
- ◇財産の無償貸付(旧有仁小学校の建物・土地、旧三岳青少年山の家の建物・土地)
- ◇市道の認定及び路線変更 ほか

人事議案

- ◇人権擁護委員の候補者の推薦(2人)

採択した請願

- ◇国に対して、緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書提出に関する請願
- ◇夜久野支所(ふれあいプラザ)の「国旗と市旗の掲揚」に関する請願
- ◇福知山市新文化ホール整備事業の推進に関する請願

可決した議員提案

- ◇福知山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

意見書

- ◇介護・障害福祉従事者の処遇改善と人材確保を求める意見書
- ◇緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書

令和5年度 補正予算審査

補正予算の主な審査内容を掲載します。

補正予算額 1210万円

(補正後の予算総額 1922万円)

ため池等農地災害危機管理対策事業

農業生産の維持や農業経営の安定化および地域住民の安心・安全の確保を図る



本年度当初予算に、さらに上乗せして増額した理由は。

府営事業として現在二つのため池の改修事業を実施中であるが、今回、国の補正予算を活用して京都府から事業費増額の内示を受けたことから、令和6年度予算の前倒しとして福知山市の負担金を増額補正するものである。



農政課

補正予算額 5880万円

(補正後の予算総額 9920万円)

小学校体育館の照明器具のLED化

子どもたちが安心・安全に過ごすための教育環境の確保



学校ごとの工事費算出の違いと今後の整備計画は。

金額の差で最も影響が大きいのは、足場の有無で、高い天井の体育館は工事費が高くなっている。また、照明の数によっても灯数に比例した工事費となっている。LED化の進捗率は、現在28%であるが、今後教室などについても、順次LED化を進めていく予定である。



教育総務課

補正予算額(小学校・中学校合わせて) 8769万円

小・中学校特別教室の便所の改修

小学校1校、中学校1校の特別教室に付随する児童生徒用便所ならびに教職員用便所の改修工事を行い学校環境を改善



国の補助対象分の具体的な内容は。

国の補助は、工事部分の面積に対して金額の上限額が決まっており、1平方メートル当たり40万1千円の補助となっている。



教育総務課

補正予算額 7877万円

(補正後の予算総額 1億3173万円)

公共交通維持改善事業

地域住民の生活路線を確保するために市内で路線バスを運行する事業者に対して支援



毎年3月議会で予算補正しているのはなぜか。

バス運行者の会計年度が10月から9月となっており、行政年度と異なっているため、令和5年9月までの実績を確定した後、国・府の補助を除いた額を3月補正で精査して予算補正しているためである。



都市・交通課

予算額 1634万円

地域おこし協力隊活用事業

地域の一員として活躍する地域活性化人材を全国から募集



アドバイザーを招いての勉強会

地域おこし協力隊制度とは
都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は、おおむね1年以上3年以下の期間で種々の「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのことです。

Q 協力隊員をどこに受け入れるのか。

三和町川合地区、大江町河守上地区、中六人部地区、3地域の活動団体を予定している。

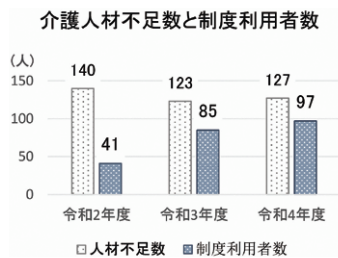


まちづくり推進課

予算額 1951万円

介護人材の確保・育成・定着に向けた支援

高齢化が進み、介護が必要な方の増加が見込まれる中、介護人材の不足への対処



Q 社会福祉施設連絡協議会からの要望は、また、それに対する対応は。

介護人材不足についての要望が一番多くあるが、簡単に課題解決できることが難しいところもあり、短期的な即効性の対策と中長期的な視点も含めて総合的な取り組みを継続する必要があると考えている。



高齢者福祉課

令和6年度予算審査

幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算 予算審査委員会 での審査

197項目 28時間26分

予算審査委員会
録画配信は
こちらから



予算審査報告

予算額 5591万円

三和荘等施設管理運営事業

地域交流の拠点として再始動
令和6年4月にリニューアルオープン



Q 歳入・歳出で事業当初から3千万円以上の歳出超過であるが見通しは。

市民の皆さまに多く使っていただく施設であり、年間3千万円超の費用はかかっているが、経費を節約しながら運営していきたい。

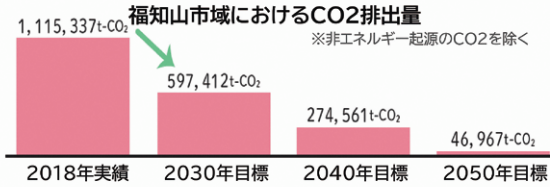


三和支所

予算額 786万円

ゼロカーボンシティ推進事業

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現を目指す



Q 普及活動補助制度の内容は。

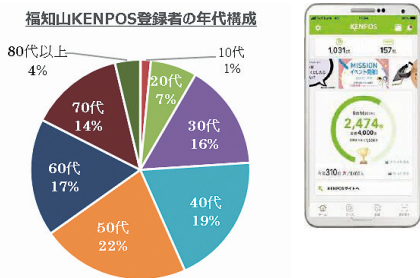
ゼロカーボンを達成していくための大きなプレイヤーである産業界に向けて連続講座を実施して、脱炭素に関わる研修を計画している。



予算額 1773万円

アクティブシティ推進事業

市民の身体活動（運動やスポーツなど）を盛んにすることで、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまちの実現に向けた取り組み、および市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進



Q 負担金補助と交付金930万円の内訳は。

850万円が「ふくぼ」のポイントの原資になっており、80万円は、アクティブシティ推進に関わる市内の団体に支援するための補助金となっている。



予算額 1076万円

带状疱疹ワクチン接種事業

带状疱疹ワクチン接種にかかる費用のうち、ワクチン代相当の半額を助成

	ビケン 乾燥弱毒生水痘ワクチン	シングリックス筋注用 乾燥組換え带状疱疹ワクチン
予防効果	約50～60%	50歳以上:97.2% 70歳以上:89.9%
持続期間	接種から7年程	接種後10年目まで 確認されている
接種回数	1回	2回
ワクチン代	1回8,000円程度	1回20,000円以上、 2回で40,000円以上
接種料金	8,000円～10,000円	20,000円～30,000円

Q 対象者がワクチンを選択する判断材料は。

効果や持続性、金額などを医療機関と十分ご相談の上、ご自身に合ったものを選択していただきたいと考えている。



予算額 1369万円

NEXTふくちやま産業創造事業

コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、持続可能な経済社会の担い手となるスタートアップ企業の創出に取り組み、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」を生み出すことで、次世代を担う新たな企業や産業の創出、集積を目指す



Q NEXT産業創造プログラムの委託先は。

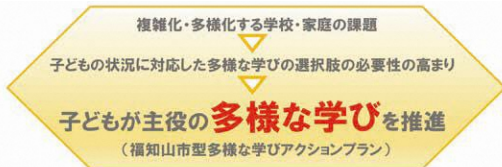
NEXT産業創業プログラムに関して連携している福知山公立大学へ委託するものである。



予算額 140万円

市立学校アナザークラス(A組)開設事業

所属する学級などになじめず、別室や放課後に登校する児童生徒に対して、教育機会確保法の趣旨を踏まえ、効果的な支援や多様な学びの場の確保をするためアナザークラス(A組)を設置



Q 令和6年度に新たに追加される学校はどこか。

新たに2校、桃映中学校、六人部中学校に設置する方向で検討を進めている。



予算額 3994万円

小学校水泳指導委託事業

水泳指導の委託により安定的な授業実施と泳力の向上、教員負担の軽減を実現

- 温水プールでの専門指導員による授業実施…13校
- 学校プールへの専門指導員派遣による水泳授業実施…1校



Q 水泳指導委託料の積算根拠は。

水泳指導については、児童数3640人に1人1回当たり2千円で授業を4回行う予定で積算している。



予算額 3444万円

福知山市動物園活性化事業

昭和53年の開園より45年が経過していることから、施設の老朽化対策として授乳室を併設したトイレの建て替えや幼児用遊具の整備、新たな動物の購入などで利便性を向上させる

マーラは、カピバラと同じげっ歯類テンジクネズミ科に属し、ウサギのように大きな耳と細長い前足を持った動物



Q 動物を選んだ理由と背景は。

マーラは、過去にも動物園で飼った経過があり、飼育しやすいことと穏やかで人に危害を加えないということで、餌やり体験などにも最適と判断した。



予算額 595万円

「鉄道のまち福知山」観光促進事業

JR福知山駅開業120周年および福知山鉄道館フレール開館1周年を記念したイベントを実施し、「鉄道のまち」をPR



Q このイベントの開催場所は。

会場に関しては、昨年度実施した鉄道の日フェスティバルなど、まちなかの観光のスポット巡りができるようなところをベースにして、JR西日本や福知山市の各関係団体などに打診して決めていきたい。



総括質疑

■市有財産の積極的活用

問 平成24年度に解散した土地開発公社の継承土地についての取り組み状況は。

答 福知山市土地開発公社から本市が継承した土地84件については、五つに分類し、整理を行ってきており、一つ目は、特定土地を引き継ぎ売却するもの、二つ目は、代替用地として保有していたが売却するもの、三つ目は、事業用地として保有していたが事業を見直し売却をするもの、四つ目は、事業化、売却を検討しつつ賃貸するもの、五つ目は、事業用地として活用するものとしている。売却可能な土地から順次売却を進めてきており、2年度までは第3セクター等改革推進償還の財源とし、償還終了後の令和3年度以降は、公共施設等総合管理基金に積み立て、公共施設マネジメント計画の推進に係る施設整備などの財源として活用している。

■大規模災害に備えた対策

問 令和6年能登半島地震の教訓を予算にどう生かすのか。

答 本市の災害物資の備蓄に

ついては、京都府の公的備蓄に係る基本的な考え方に基づき、重点備蓄品目を京都府と共同で備蓄することとしており、令和3年度から令和7年度までの備蓄物資整備計画を定めている。内容としては、避難者が最大となる三峠断層地震による避難者約2万5700人を基準として、おおむね24時間に必要とされる食糧、飲料水などの備蓄を進めているもので、具体的には、食料は1人2食、飲料水は1人1リットル、毛布は1人1枚、簡易トイレは100人に1基を設置するなど、公的整備の基準を設けている。

■京都府では1位に

問 市の住み良さランキングの4年連続上昇の要因は。

答 住み良さランキングの快適度を測る指標として、転



防災備蓄倉庫（有路下体育館）

出入人口比率があり、総務省の統計では、その差は、2019年が410人、2020年が284人、2021年が11人、2022年は2人と、依然転出数が多い状況ではあるが、年々大幅に減少してきており、本市のさまざまな取り組みの成果が表れてきているものと考えている。令和6年度予算では、新しい人の流れを作ることで、子育て世代の転入促進や福知山PR戦略総合推進事業などにおいて、市内外への効果的な情報発信を行うなど、社会増につながる施策を実施していきたいと考えている。

問 自治会や公民館への予算支援は。

答 自治会や公民館への予算支援は。



旧細見小学校中出分校を大阪・関西万博のパビリオンとして移設するにあたり校舎出発セレモニーを催して福知山をアピール

■中小事業者への支援策

問 市内の中小事業者に対する支援策は。

答 本市の事業者のほとんどが中小事業者であり、中小事業者が元気であることがまちに活力を生み出す基盤であると考えている。優れた人材を確保するためには、経営の安定化が前提となることから、経営の維持および向上を図ることを目的として、福知山産業支援センターを設置し、地域経済の活性化を図っているところである。また、少子高齢化に伴い、生産年齢人口が減少し、今後さらに労働力不足が深刻化することから、中小事業者の設備投資を促進し、

まずは生産性の向上を図ることが急務であると考えている。このためAIやICTなどのデジタル技術を積極的に取り入れ、RPAの導入による業務効率化など、DXによる省人化などを進めることが重要であると考えている。これらの取り組みに加え、福知山で暮らし、ここで働きたいと思う人を増やすことが重要であると考えており、まちづくり構想福知山の取り組みを推進し、魅力あるまちづくりに取り組んでいきたい。

討論

反対討論 2件
賛成討論 1件

審査結果

付託議案全て原案可決



シニアワークカレッジを開催

委員会審査報告

主な質疑を掲載します。

総務防災委員会

財産の無償貸付

(旧有仁小学校)

問 敷地法面の除草などの維持管理体制や地元への説明は、これまでと同等の頻度で維持管理してもらうよう協議している。地元自治会にも

答 これまでと同等の頻度で維持管理してもらうよう協議している。地元自治会にもしっかりと説明するよう募集要項に記載しており、議会の議決後に地元に入り、説明してもらう予定としている。

情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定

問 電磁的記録における個人情報保護と、オンライン申請された記録の保管方法は。

答 オンラインの申請システムを使用し、行政専用ネットワークでセキュリティも整ったものなので、個人情報保護は問題ない。紙を使わない保管が理想ではあるが、決裁や事務の処理上、当分は紙とデジタルの両方で保管することになる。

反対討論、賛成討論

なし

審査結果

付託議案全て全員賛成で可決

教育厚生委員会

市介護保険条例の一部改正

問 今回の改正で低所得者の年間の負担軽減額は。

答 第一、第二、第三段階の区分に該当の方で、それぞれ年間1080円の減額となる。

市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

問 診療科目増設の内容は。

答 膠原病内科は京都府立医科大学病院からの派遣医師で対応していた。今回、新たに2人の医師が着任する。また、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科も安定的医師確保の見通しがつき、これら科目を明確に標榜することとした。

工事請負契約の変更

(六人部地域公民館・体育館大規模改修工事)

問 六人部地域体育館の床下地について事前調査の状況は。

答 当初の計画では床下地について再利用できるとして体育館表面のフローリング張り替えのみであった。施工が始まり部分的に床を撤去した結果、下地の腐食が見えられ、増工が必要となった。

反対討論、賛成討論

なし

審査結果

付託議案全て全員賛成で可決

産業建設委員会

福知山市水道事業給水条例の一部改正

問 安全安心で生命に関わるライフラインである水道への影響は。

答 国が示す、水質衛生管理は環境大臣、水道整備は国土交通大臣へ移管する。それぞれの知見を生かした所管変更である。

福知山市スポーツ推進計画(中間評価・見直し)の策定

問 全国大会など出場目標が、令和4年度実績の59件に対し、令和10年度に180件と大幅に増加した。目標を達成するための手法は。

答 過去の実績やコロナの影響がなくなったことを勘案して当初計画通りの目標数とした。令和5年度からトップアスリートを招聘して、指導者育成と子どもたちが質の高い体験ができる機会を作った。技術を伸ばし、目標を達成したい。

福知山市温水プール条例の廃止

問 旧温水プールの跡地の活用は。

答 ガラス張りの特殊な建物であることや老朽化が著しく建物の再利用は不可能と判断し、解体後に利活用を検討する。

反対討論、賛成討論

なし

審査結果

付託議案全て全員賛成で可決

市民の皆さんからの請願審査

※掲載文は、討論内容をもとに各議員が作成しています。

請願第1号 国に対して、緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書提出に関する請願



■請願者／山段 誠氏ほか3人

■目的／国におかれては、緊急事態に対応できる法令などの整備について、促進されることを求めます。

■請願賛成討論

「国民の命と暮らしを守る法整備」 藤本 喜章

新型コロナウイルス感染症は国民の生活、医療、経済などに影響を与え、気候変動などによる自然災害が発生する可能性もある。今後、重大な緊急事態が発生した場合、従来の法体系では対応できない恐れがある。国民の命と暮らしを守るためにも課題整理し、国民への説明責任や理解を得、法令などの整備を促進す

ることで賛成。

■請願反対討論

「憲法9条改定につながり反対」

吉見 純男

願意は、従来の法体系では対応できなくなるおそれがあるとし、緊急事態に対応できる法整備を国に要望するとなっているが、岸田政権による安保3文書改定と大軍拡の中、戦争できる国づくりと一体に憲法そのものを改定し、第9条改憲とともに緊急事態条項の創設を狙う流れに沿ったものとなり、人権侵害の恐れがあり反対。

■議決結果／採択

請願第2号 中等度以上の難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の実施に関する請願



■請願者／全日本年金者組合 京都・福知山支部
支部長 堀 昭子氏 ほか1人

■目的／中等度以上（40デシベル以上）難聴者のための補聴器購入に対する公的補助制度を福知山市でも実施すること。併せて、国保特定健診に聴力検査を入れることを求める。

■請願賛成討論

「補聴器購入に公的補助を」 小瀧 真里

加齢による難聴が認知症のリスクを高めるといわれている。補聴器を活用することで、コミュニケーションがとりやすくなり認知症予防につながる。それにより健康寿命が延び介護保険の財政負担が減る。このような投資的視点で補聴器購入に公的補助のしくみをつくり、高齢になっても自分らしく暮らせるまちを実現すべきである。

「補聴器購入の補助で高齢者支援を」 中村 初代

加齢による難聴者は75歳を超えると7割以上といわ

れ、友人や家族とのコミュニケーション能力の低下から認知症のリスクも高まるといわれている。難聴者にとって補聴器は必需品だが、高額で大きな負担である。過度な財政負担にならないような制度設計で、市が補聴器購入への補助を行い、高齢者を応援することが必要。

■請願反対討論

「公的補助制度の確立を優先」 野田 晋介

補聴器が個人や地域社会の生活の質を向上させる重要な役割を果たすことは十分に理解できる。しかし、市としての制度創設を考えるとすれば、公的補助制度を確立し、市の財政や役割について十分に考慮する必要がある。制度が確立されていない中では財源の見通しを立てることは困難であると考えため本請願に反対する。

■議決結果／不採択

請願第3号 夜久野支所（ふれあいプラザ）の「国旗と市旗の掲揚」に関する請願



■請願者／平田 勲氏

■目的／福知山市庁舎（市役所、三和支所、大江支所）は「国旗と市旗」が掲揚されている。夜久野支所においても同様の運用を求める。

■請願賛成討論

「3支所全てに掲揚が求められる」 森下 賢司

本市の本庁舎と三和支所、大江支所には掲揚されているのに夜久野支所には掲揚されていないのは不自然。本来、本庁舎と3支所全てに掲揚されるのが望ましい。願意に賛同し、速やかに掲揚設備設置の予算措置をされ、早期の掲揚に至ることを求めて願意に賛成する。

「夜久野支所に国旗・市旗の掲揚を」 小原 彰紀

国旗・市旗の掲揚は、国民および市民のアイデン

ティティの証であり、支所は市行政執行と市民サービスの窓口であり、市域全般に機能を提供する庁舎であることから、現在掲揚されている本庁、三和支所、大江支所と同様、夜久野支所にも国旗、市旗の掲揚柱の設置が必要である。

■請願反対討論

「住民合意のない掲揚には反対」 梶原 秀明

ふれあいプラザの玄関には日章旗が掲揚されています。200万円の予算措置をしてまで掲揚柱を設置する必要はありません。また、この請願は請願者個人の請願内容となっており、夜久野町のみさんの合意形成ができていないとは言えず、支所に掲揚しなければならぬ法的根拠も存在しないことから反対します。

■議決結果／採択

請願第4号 みんながよろこび北近畿に誇れる新文化ホールになるよう見直しの賛否を問う住民投票を求める請願



■請願者／足立 直敬氏 ほか7人

■目的／さまざまな地域から人が集まり、みんながよろこび北近畿の中心都市として誇れる新文化ホールとなるよう立ち止まり見直しの賛否を問う住民投票を求める。

■請願賛成討論

「住民投票をすべき」 塩見 聡

請願の意味は、あまりにも市民を見ずに進んでいる市長と行政に対して、住民投票という形で「直接意見を言いたい、思いを伝えたい」です。議員は市民の代表であり、市長の代弁者ではありません。議員は賛成し市民の意思表明ができる場を作らなければならない。

「8286筆の署名の重みを感じて」 足立 治之

新文化ホールを見直す会は、市民の生の声である8286筆の署名を集めました。この署名には大きな意味があり、議会と執行部との議論、議会内での議論がいかに不十分であったか露呈した。議会は真摯な態

度で市民の声に耳を傾けることをおろそかにしてはならず、この請願の願意に心から賛意を表明いたします。

「対話から始まるまちづくりを」 小瀧 真里

元来、施策とは市民にとって必要不可欠な課題解決を実現するものである。よって、事業のスタートラインにおいて対話という営みが必要となる。多くの市民がより多くの対話を切望しており、その切望が今回の請願につながった。市民のためのまちづくりとはどうあるべきかを今こそ原点にもどり、考え直さなければならない。

「住民投票の権利は保障されるべき」 中村 初代

市長は新文化ホールの計画を大幅に見直す記者発表を行った。市民の声を聞いて、再検討するというのであれば、今こそ住民投票を実施して、直接市民の意思を問うことが必要である。住民投票は地方自治法第74条により、直接参政権が認められている市民にとっての権利であり、その権利は保障されるべきである。

■請願反対討論

「改めて市民の意見を聞き再検討」 吉見 茂久

進めている新文化ホール整備事業を、立ち止まり見直しの賛否を問う住民投票条例制定を求める8286人の署名が提出された。市長は、基本構想の理念は大切に

し、新文化ホールの規模、機能、場所などを改めて市民の皆さまの意見を聞き再検討したいと発表。このことを踏まえ本請願の願意は満たされたと理解し、反対する。

■議決結果／可否同数、議長裁決により不採択



請願第5号 福知山市新文化ホール整備事業の推進に関する請願

■請願者／谷垣 修身 氏 ほか16人

■目的／令和4年12月に策定された「福知山市新文化ホール基本構想」および令和5年7月に策定された「福知山市新文化ホール基本計画」を基本としつつ、今後市民との対話を継続しながら、前向きに事業を進めることを求める。

■請願賛成討論

「防災機能を備えた新文化ホールを」 片山 正紀

新たに整備される新文化ホールは、浸水リスクが懸念される多くの住民の方々の緊急避難所としてもその役割を担う必要があるため、今後の整備計画の見直しに際し、施設規模の拡充、ならびに充実に向けた積極的かつ責任ある取り組みに大きな期待を寄せ、本請願に賛成する。

■請願反対討論

「市民は600席を望んでいない」 塩見 聡

市が行ったアンケート結果から分かるように600席への縮小を市民は望んでいない。また短期間で8286人も

の署名を集めた圧倒的なふわっとした民意を尊重すべき。なにより「議員は市民の代表であり、市長や行政の代弁者ではない」民意と逆を望む本請願には反対。

「新文化ホール推進の意味について」 足立 治之

「新文化ホール計画策定事業」は、昨年の9月定例会で付帯決議付きではありますが、議決され、粛々と計画は進められています。見直せという声が強くなってきたからとの理由によりこの請願は出てきているようですが、その根の部分は見直す会の意見と同様に思えこの請願者の願意には添えず、反対いたします。

「建設予定地の固定は時期尚早」 梶原 秀明

建設予定地などの大きな変更は認めるわけにはいかないがありますが、多数の台数が止められる近隣の駐車場は確保できていません。また、今の厚生会館跡地に建てるとなれば、敷地面積も限られ多くの制約がかかります。今の段階で建設予定地を固定するのは市民的な合意も得られず時期尚早です。

■議決結果／可否同数、議長裁決により採択

議会から国へ意見書

3月定例会において2件の意見書を可決し、国へ送付しました。

- 介護・障害福祉従事者の処遇改善と人材確保を求める意見書
- 緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書

詳しくはこちらから▶



議案に対する討論

※掲載文は、討論内容をもとに各議員が作成しています。

議第102号から議第144号まで（議第131号を除く） 令和6年度一般会計予算 ほか



反対（議第102・130号）

「住民投票を回避するためのポーズ」 塩見 聡

採決の前日に突然市長から「新文化ホール計画の機能、規模、場所を見直す」と発表があった。現在計上されているのは見直す前の計画を基にした予算であり、見直すなら取り下げて修正すべき。それをしないということは住民投票を回避するためだけのポーズ。

反対（議第102号）

「市長は住民投票を避けた行為だ」 荒川 浩司

住民投票条例採決の前日に市長は、文化ホール整備

計画の“全面見直し”を表明した。これは議会で軽視と事前審査に値する行為である。また議員が採決反対しやすい状況を作るとともに住民投票そのものを避けるための行為である。そもそも今回の住民投票の目的は、「見直しの賛否」について市民の声を聴いて欲しいことにある。

反対（議第102・111号）

「法令を尊重した予算編成を」 吉見 純男

一般会計予算では、平成29年に地方公務員法が改正され、専門的知見を有するとして根拠に基づき自治会長を非常勤特別職の地方公務員として任用することは

同法3条に抵触する。同和対策特別措置法失効後も特別施策が予算化されていることから反対。後期高齢者医療事業予算は、受けられる医療が差別される制度のため反対。

賛成 (議第102号から議第114号・議第127号・議第132号から議第134号)

「適切に予算編成されており賛成だ」 森下 賢司

令和6年度当初予算は、一般会計ではあらゆる分野に目配せした予算編成だ。特別会計や企業会計も、厳しさが増す状況においても持続可能な運営や市民のライフラインを守る堅実な運営が望まれる中、適切に予算編成がされており賛成だ。令和5年度補正予算も、市民の命と暮らしを守るための補正予算と認められる。



市会発議第2号 福知山市新文化ホール整備事業に関する住民投票条例の制定について

反対

「見直しが表明されたので必要ない」 高橋 正樹

本提案は、現行の新文化ホール整備事業の見直しの賛否を問うものだが、行政側からは、住民投票条例制定の対象となる新文化ホール整備事業を見直す意思がすでに表明され、住民投票条例で賛否を問うべき対象はもはやない。住民投票条例制定の必要性がないことはどのような理由をつけても明白であり、賛成できない。

賛成

「費用を掛けずに身を切る改革を」 岩崎 崇央
市長選挙と住民投票を別々に行うと4千万円の無駄な経費が発生します。

物価の高騰など、国民の生活は一向に良くなりません。無駄な経費を発生させることは、止めるべきです。行政の無駄を省き、行財政改革を進める身を切る改革の観点からみても市長選挙と住民投票を同日に実施すべきであり賛成。

賛成

「市長選と住民投票は同日が重要」 足立 治之

今年は、6月9日に市長選が控えており、三期目を迎える市長への評価として新文化ホールの見直しの賛否を問う住民投票を同日に実施することは、経費面から考えても実施しないという選択肢は見当たりません。また、市長選挙の重要な争点となり、投票率も格段に上がり、また別々に実施するよりも経済的であり、心より賛同します。



市会発議第2号 緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書

反対

「緊急事態条項改憲への危険」 吉見 純男

意見書は「緊急事態に対応できる法令等の整備」を求めているが、憲法審査会における緊急事態概念の一つに外部からの武力攻撃が挙げられている。緊急事態法は、陸海空軍の保持を禁じ国の交戦権を認めないとした憲法9条2項の削減や、内閣に立法権を認め緊急政令の制定を認める緊急事態条項改憲へとつながる危険があり賛成できない。

賛成

「論点整理し、国民に分かりやすく」 藤本 喜章

我が国は自然災害など緊急事態には災害対策基本法や新型コロナウイルス感染症等対策特別法などで対応してきた。今後、より重大な緊急事態が発生した場合、従来の法体系では対応できない恐れがある。国民の命と生活を守るには法令など、多岐にわたる論点整理し、国民に提示し、理解を得た上でその整備に取り組むとあり、賛成とする。



福知山市議会議長不信任決議について

反対

「議長判断による全協対応は可」 岡野 天明

会期中に市長から議長に対して、重要事項について申し入れがあり、議長判断において全議員協議会を招集・開催し、全議員に対して市長からの説明・報告の機会を設けたことは問題はないと判断する。また、疑義がある場合は、全議員協議会が開催される前に、事前に議長に申し入れを行い協議する時間は取れたものと思慮する。

賛成

「議長の対応は市長に加担している」 荒川 浩司

3月27日「新文化ホール見直し」採決の前日に、全議員協議会の場で、市長に対して明日の採決に影響のない範囲での説明を要望された。しかし27日の反対討論である議員が「昨日の市長説明の中でも、市長が見直しと言っておられます。」との発言があり、正しく事前審査となっており、この行為の責任は議長退任が相応しい。

反対

「議長不信任決議案には該当しない」 大谷 洋介

議長は、市長から、全議員へ重要な報告があるとの申し出を受け、議長権限で全議員協議会を開催することを決定した。異論があれば、開催前に議長に申し出るべきである。市長からの再検討の発言は、住民の思いを満たすものである。

賛成

「議長は公正な本会議運営を」 吉見 純男

議事について賛否が可否同数の時は議長が裁決権を行使するに当たり、現状を維持することが適当とする現状維持の原則がある。議長は3月27日の本会議運営に当たり、新文化ホール建設構想に係る請願2件について賛否が可否同数となった際に、現状維持の原則から逸脱した裁決権を行使した。違法ではないが公正さを欠く。

3月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決・同意となった議案

議第103号	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	議第125号	福知山市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
議第104号	令和6年度国民健康保険診療所費特別会計予算	議第126号	福知山市水道事業給水条例の一部改正
議第105号	令和6年度と畜場費特別会計予算	議第127号	財政調整基金の繰入れ
議第106号	令和6年度宅地造成事業特別会計予算	議第128号	第2次福知山市自殺対策計画の策定
議第107号	令和6年度休日急患診療所費特別会計予算	議第129号	福知山市過疎地域持続的発展市町村計画の変更
議第108号	令和6年度福知山市都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計予算	議第131号	令和5年度一般会計補正予算(第9号)
議第109号	令和6年度介護保険事業特別会計予算	議第132号	令和5年度一般会計補正予算(第10号)
議第110号	令和6年度夜久野地区財産区管理会特別会計予算	議第133号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
議第112号	令和6年度水道事業会計予算	議第134号	令和5年度休日急患診療所費特別会計補正予算(第2号)
議第113号	令和6年度下水道事業会計予算	議第135号	福知山市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定
議第114号	令和6年度病院事業会計予算	議第136号	福知山市職員の定年等に関する条例の一部改正
議第115号	福知山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	議第137号	福知山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
議第116号	福知山市消防手数料条例の一部改正	議第138号	福知山市温水プール条例の廃止
議第117号	福知山市国民健康保険条例の一部改正	議第139号	工事請負契約の変更(六人部地域公民館・体育館大規模改修工事)
議第118号	福知山市消防団員等公務災害等補償条例の一部改正	議第140号	物品の取得(小学校教師用指導書)
議第119号	福知山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	議第141号	財産の無償貸付(旧有仁小学校の建物・土地)
議第120号	福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	議第142号	財産の無償貸付(旧三岳青少年山の家建物・土地)
議第121号	福知山市介護保険条例の一部改正	議第143号	市道の認定及び路線変更
議第122号	福知山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	議第144号	福知山市税条例の一部改正
議第123号	福知山市病院事業の設置等に関する条例の一部改正	議第145号	人権擁護委員の候補者の推薦(田中 久志 氏)
議第124号	福知山市教育集会所条例の一部改正	議第146号	人権擁護委員の候補者の推薦(松田 昇司 氏)
		市会発議第1号	福知山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定
		市会発議第1号	介護・障害福祉従事者の処遇改善と人材確保を求める意見書

議決結果

■議員別賛否一覧(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を記載しています)

議案	会派別議員名(議決結果)	議決結果	福知山市議会公明党			日本共産党市会議員団			蒼士会			無所属・維新議員団		新政会				対話の時代		地域政党「ふくちやま・市民の声」					
			大谷 洋介	足立 伸一	吉見 茂久	吉見 純男	中村 初代	梶原 秀明	高橋 正樹	野田 晋介	藤本 喜章	森下 賢司	塩見 聡	岩崎 崇央	中嶋 守	小松 遼太	岡野 天明	片山 正紀	井上 雄一	イシワタマリ	小龍 真里	田中 法男	荒川 浩司	足立 治之	小原 彰紀
議第102号	令和6年度一般会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議第111号	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第130号	福知山市スポーツ推進計画(中間評価・見直し)の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	国に対して、緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	中等度以上の難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の実施に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	夜久野支所(ふれあいプラザ)の「国旗と市旗の掲揚」に関する請願	採択	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	みんながよるこび北近畿に誇れる新文化ホールになるよう見直しの賛否を問う住民投票を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	-	×	×	×	○	○	○	○	○	○
請願第5号	福知山市新文化ホール整備事業の推進に関する請願	採択	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×
市会発議第2号	福知山市新文化ホール整備事業に関する住民投票条例の制定	否決	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
市会発議第2号	緊急事態に対応できる法令等の整備を求める意見書	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福知山市議会議長不信任決議	否決	×	/	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権
 ※田淵裕二議長(新政会)は、可否同数のため、請願第4号は不採択、請願第5号は採択と裁決しました。また、その他議案につきましては、議長職のため表決に加わっていません。
 ※足立伸一副議長(福知山市議会公明党)は、可否同数のため、福知山市議会議長不信任決議は否決と裁決しました。
 ※所属会派は、3月27日現在

ここが聞きたい！ 3月定例会

代表質問

スマートフォンから
ご覧になれます

録画配信中！

代表質問の録画配信は、
各議員の二次元コード
からご覧になれます

質問議員

各会派から7議員が質問に登壇！

1. 無所属・維新議員団
塩見 聡 議員
2. 新政会
中嶋 守 議員
3. 対話の時代
田中 法男 議員
4. 地域政党「ふくちやま・市民の声」
足立 治之 議員
5. 福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員
6. 日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員
7. 蒼士会
森下 賢司 議員

※所属会派は3月27日現在
 ※掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。
 ※答弁者が同一の場合は、最後の答弁にのみ記載しています。
 ※質問・答弁・写真・資料などは、議員が代表質問を行った時点のものであり、発行日までの間に、状況に変化がある場合もありますので、ご了承ください。

教えて
ドッコちゃん！



Q：代表質問と一般質問とは何が違うの？

A：代表質問は、会派を代表し、市政の運営方針や主要課題など政策レベルでの問題点や将来に対する方針などについて所信を資するものです。一方、一般質問は、議員の調査・研究、自身の考えをもとに、行政に対して政策を問うものです。

代表質問

Q 市長選と住民投票の同時選挙は

A 同時の実施は難しい



新文化ホールの見直しを求めるチラシ

無所属・維新議員団
塩見 聡 議員



問 市長選挙と同時に住民投票ができない場合に余計にかかる費用は。
答 条例に委任される規則など詳細が固まっていないため、現時点での算定は難しい。
問 事前に通告しているので出してもらいたかった。おそらく人件費を含め3千万から4千万くらいではないか。この住民投票は注目度も高く日程的にもそこまで無理はない。同時にできる見込みか。
答 諸手続きが必要になるため日数が必要となる。また投票所入場券の作成、発送、広報ふくちやまの

特集号の作成配布、投票用紙、不在者投票用紙の封筒の作成など約2カ月を要するため、公正かつ適正に同時投票事務を行うのは非常に難しい。
問 多額の費用と市長選から2週間後くらいに再度投票とならないよう身を切る改革をすべき、市長の意気込みは。
答 仮に、条例案が成立すれば、条例案によると市長は協議により選挙管理委員会に委任するものとなっている。最大限の努力で適正かつ迅速に投票にかかる事務を進めていただきたい。(市長)

その他の質問

- 北近畿の中心都市と新文化ホール
- 政策決定と合意形成の流れについて

Q お城を快適に楽しく拝観するには

A 環境や整備に努め安全に誘導する



春の福知山城

新国会
なかしま
中嶋 守 議員



問 大河ドラマ「麒麟がくる」放送終了後、はや4年目を迎えているが、現在お城の入館者数は。
答 令和5年度の入館者数は、令和6年1月末時点で5万1164人である。

問 入館者の内、障害のある方の割合は。
答 天守閣の入館料は、障害者手帳をお持ちの方とその介助の方1人は半額とする制度を設けている。今年度の制度利用者数は1月末時点で1418人であり、全体の入館者に占める割合は約2・8%である。

問 設の対応は。
答 障害のある方をはじめ、さまざまな方が円滑に移動できるように令和元年度に施設改修を行った。施設改修以外の対応として、車椅子利用の方など、登城坂を登ることが困難な場合は、事前に連絡をいただくことで天守閣の広場に案内している。

問 高齢者や子どものために、館内にエレベーターの設置は。
答 構造などの多くの課題がある。関係機関と協議を行い、快適に見学しただけできるよう環境整備に努める。

(地域振興部理事)

その他の質問

- ・大橋市政2期目を振り返って
- ・ラーニングイノベーション・プロジェクトの成果と課題、今後の展望を問う

Q 農業の未来を考える地域計画とは

A 将来の農地利用を明確化するもの



京都府農林水産部・
京都府農業会議発行のチラシ

対話の時代
たなか
田中 法男 議員



問 地域計画の内容は。
答 農業者の減少や耕作放棄地が拡大する中、農地の集約化などに向けた取り組みを加速化することが課題となっている。

問 地域計画の本旨は。
答 地域農業の担い手が今後減っていく状況への対応策として、地域のみならず話し合い、農地を継続的に利用できるようにすることである。

問 地域計画の目的は。
答 地域の農業者が地域の農業の現状と課題を把握し、自分たちで主体的に考え「地域農業の課題にどう取り組むか」を明確にすることである。

問 目標地図とは。
答 将来も農地として守るべき範囲について一筆ごとに農業を担う者、または将来の利用者を明確化した地図である。

問 目標地図と利用権設定の関係は。
答 目標地図に資する場合において設定できる。

問 地域計画の区域について本市の実施状況は。
答 市内を12ブロックに分けて、農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に策定に向けて進めていただいている。

(産業政策部長)

その他の質問

- ・認知症基本法の推進の方策は
- ・個別避難計画の策定の状況は
- ・稼げる観光戦略のあり方は

Q 行政主導型地域問題の解決策は

A 地域主導となるよう伴走する



地域の支え合いこそが地域を守る

地域政党「ふくちやま・市民の声」
あだち はるゆき 議員
定立 治之



問 地域の問題を事細かに行政が解決することが必要か否かを考える時期にきていると考える。地域課題は多種多様であり、辛い所が手が届かなければ不満が出る。行政側は市民の皆さまに寄り添い、きれていない。地域のことは、地域に任せ、自主的な活動の手助けをすることが重要ではないか。

答 地域づくり組織の設立に当たっては、行政が主導するのではなく住民課題への気付きと主体的な取り組みを尊重しつつ、地域の実情と意思に寄り添った伴走支援を行っていききたい。

問 自治会単位の「ささえあい」活動の広がりに働きかけは。

答 今後、さらに取り組みを広げるために地域への働きかけとともに、活動支援の拡充予算を計上する。(福祉保健部長)

問 少子高齢化や財政の先細りを鑑み、行政に頼らない自治会単位の意識の確立が重要では。

答 安全安心な生活を送る取り組みについては、チーム型コミュニケーション活動が必要と考え支援を継続しつつ、まちづくり人材を増やしたい。(地域振興部長)

その他の質問

- 「まちづくり構想福知山」に掲げる生活の質を高める文化芸術活動の振興について
- 農地保全・耕作放棄地(荒廃農地)に対する市の考え方について
- 森林環境譲与税に係る市の方針について

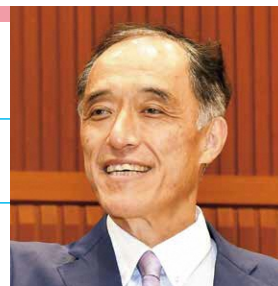
Q 能登地震を経た本市の地震対策は

A 教訓と経験から対応を検討したい



救援に徹する本市の緊急消防援助隊員

福知山市議会公明党
おおたに ようすけ 議員
大谷 洋介



問 能登半島地震に対する本市の現在までの支援状況は。

答 2月末までの支援状況として、緊急消防援助隊、被災建築物応急危険度判定のための判定士、避難所の保健指導のための保健師、市民病院の災害派遣医師チーム、避難所運営支援のための職員、給水活動のための職員、合計112人を石川県の被災自治体3市1町に派遣した。(市長)

問 本市に影響を及ぼす断層は。

答 最も被害が大きい断層は、市の南西部から京丹波町を東西に走る三峠

断層とされている。最大予測震度が7とされ、死者約5200人、全壊家屋約2万1千棟、避難者は約4万4千人と見込まれている。

問 三峠地震に対する備えは。

答 発災後おおむね24時間必要とされる飲料水、食料などを備蓄している。職員体制、支援を円滑に受け入れるための計画の整備、避難所の確保、地震を想定した防災訓練、住宅耐震化支援の充実を進めている。(危機管理監)

その他の質問

- 台風7号による土砂災害を受けての今後の対応について
- 学校施設の老朽化対策・防災機能強化の推進について
- がん治療の外観ケアのためのウィッグ購入公費助成について
- HPVワクチン キャッチアップ接種について
- 中学校での献血教育推進について
- インフルエンザの長期流行について

Q 水道水の有機フッ素化合物対策は

A 芦洲浄水場に除去設備を予算化



活性炭除去装置設置予定の芦洲浄水場

日本共産党福知山市議員団
吉見 純男 議員



問 三和町芦洲浄水場の水道水から、発がん性が危惧される有機フッ素化合物（PFOA、PFOS）が国の暫定管理目標値を上回る検出をされた。早急な除去対策は。

答 令和6年度予算で、浄水場前処理設備設置事業として、効果が全国的に確認されている活性炭による除去設備を予定している。

問 土師川の水质検査を行い、原因の除去対策を行う必要があるが。

答 土師川の芦洲浄水場取水池下流において、国土交通省が実施した水质

検査によると、PFOA、PFOSの値は国の定める暫定基準値を下回っている。今後、検査値が超過するようなことがあれば、国の手引きに基づいて、対応を検討すると聞いている。今後も住民の健康を守るため、京都市と連携し、適切に対応していく。

問 瑞穂環境保全センターの排水検査と対策は。

答 PFOA、PFOSについては、規制基準がないため、検査は行っていないが、有機フッ素化合物に効果がある活性炭除去設備は設置されている。（上下水道部長）

その他の質問

- 住民福祉増進の立場で事業棚卸により統廃合された事業の見直しを
- 民間活用から住民活用へ、公共施設マネジメントにおける施設の利活用方針の見直しを
- 市民要望を反映した新文化ホールの建設を

代表質問

Q 高齢者に優しい家庭ごみ分別は

A 必要な支援を検討していく



地域の努力で管理されている家庭ごみ集積所

蒼士会
森下 賢司 議員



問 現在の家庭ごみの分別方法の評価と課題は。

答 ごみの減量と資源化に寄与しており、今後現行の分別区分を維持したい。一方、介護が必要な高齢者の中には、早朝のごみ出しや分別に困難を抱える人もいる。これらの人への支援が課題である。

問 分別が十分でないために回収されず、地元自治会の負担になる場合もあるが、高齢者に分かりやすい分別になっているだろうか。また、多少分別が不完全でも収集する対応も必要ではないか。

答 カラー刷りイラスト

を使ったパンフレットを発行している。また、在宅医療ごみや使用済み紙おむつなどの不燃物も燃えるごみとしている。市民に定着した分別方法の見直しや緩和は適切ではない。

問 集積所へのごみ出しが困難な高齢者や障害のある人がいる家庭に、戸別収集の検討はできないか。

答 対象世帯の決定や受益者負担のあり方など、福祉部局との検討が必要。ごみ収集業者の確保も課題だ。今後、一般廃棄物処理基本計画中間見直しの中で必要な支援を検討したい。

（市民総務部長）

その他の質問

- 「幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算」を考える
- 福知山公立大学の組織改編計画を考える
- 大橋市政2期目の市長公約を振り返る



委員会活動報告 教育厚生委員会

出張委員会を開催 介護・障害福祉現場を支える一般社団法人 福知山民間社会福祉施設連絡協議会と意見交換

活動日 1月24日(水)

出張委員会開催場所

市民交流プラザふくちやま

介護・福祉人材の確保について

出張委員会の中で、まず、一般社団法人 福知山民間社会福祉施設連絡協議会（以下 福施連協）が直面する課題などについて意見交換を行った。

本市からの要請を受け、福施連協が運営主体となり介護人材の現任者研修を実施するための介護・福祉人材養成センターが平成27年度に開設された。これまでの研修成果で300人近い介護福祉士の合格者誕生につながっている。当センターに対して、運営に係る補助として本市から家賃、光熱水費の支援がある。また、これまで国から小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の補助金を受けていたが、今年度から交付対象から外れ、今後の対策が課題となっている。

次に、福施連協加盟法人で今回出席された9法人と人材確保などの現状や課題、要望などについて意見交換を行った。

介護・障害福祉人材に関して感染症の影響や賃金の課題など、一層人材確保、定着が厳し

い状況である。これまで国の介護職に対する処遇改善があったが、介護職以外に相談員や看護師、介護支援専門員などさまざまな職種で運営が成り立っており、全ての職種に行き渡っていない現状がある。また、外国人の受け入れに、必要な住居確保への支援や小中学校の介護に関する体験学習など福祉教育の継続した取り組みなど多くの意見が出された。出張委員会においてこうした現状を共有でき、今後、さらなる介護・障害福祉人材の確保が必要と考え、委員会として国への意見書を提出することが適当と判断した。



福施連協と意見交換



委員会活動報告 産業建設委員会

三和荘改修工事の視察 三和荘活用推進協議会、福知山観光協会との意見交換

管内視察・出張委員会

活動日 1月22日(月)

三和荘改修工事の視察

4月1日に民間の活力も入れながら市直営としてリニューアルオープンを迎える三和荘について、改修工事の進捗などの説明を聞きながら、外観を中心に現地視察を行いました。地域の拠点施設、そして地域外からのスポーツやビジネスなどの集客・宿泊施設としても重要な三和荘の現状を把握しました。

三和荘活用推進協議会と意見交換

地域協議会や自治会など三和地域の住民らで組織される三和荘活用推進協議会の4人と意見交換を行いました。三和荘は地域拠点施設として地域要望などが盛り込まれた施設となった、とのことでした。委員からは拠点施設だから集客を疎かにしていいということではなく、集客に力を入れてほしいという意見も出ました。今後一層地域や近隣の長田野工業団地アネックス京都三和と連携しながら地域の活性化に寄与する拠点となっていくように動向を注視していきます。

出張委員会

活動日 2月9日(金)

福知山観光協会と意見交換

コロナ禍で打撃を受けた観光業界。大河ドラマ放映前後、コロナ禍、アフターコロナと、旧3町も含め現状と今後の観光振興について、会長や事務局長など6人と意見交換を行いました。京都北部7市町の海の京都広域観光、インパウンド（外国人旅行者）観光、福知山市や民間との連携や観光予算、専門人材育成、観光振興のビジョンや計画についてなど、多くの議題で意見交換ができました。



4月1日にリニューアル予定の三和荘を視察

皆さまの声を聞かせてください 第20回 議会報告会・市議会と語ろう 「わいわいミーティング」

第20回議会報告会「市議会と語ろう『わいわいミーティング』」を、「昼の部」と「夜の部」の2回に分けて開催しました。

開催日
2月12日

(月・振替休日)

場所
市民交流プラザ
ふくちやま

市民の皆さまの声を聴き、今後の議会活動や市政に反映させることを目的に、議会からは、主に12月定例会での議事内容を中心に、議会活動について報告を行いました。

その後、三つのグループ（総務防災、教育厚生、産業建設）に分かれ意見交換を行いました。それぞれのテーマに基づき活発な意見交換をした後に、各グループのまとめの発表を行いました。

主な意見や質問などを掲載します。



総務防災



テーマ

- ① 消防団の活性化
- ② 福知山公立大学とまちづくり など

いただいた主な意見や要望

- ・ 消防団員数が大きく減っている、もっとPRをしてほしい。
- ・ 議会から消防団活動支援に対する政策提言を出されたが成果、検証などフォローされているのか。など消防団に対する意見が多く出されました。

教育厚生

テーマ

- ① 子育て・教育・福祉に関して
- ② 住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまち など

いただいた主な意見や要望

- ・ 民生児童委員や自治会長など成り手不足。
- ・ 市民病院の入り口付近の交通渋滞と事故多発の要因の解消や、駐車場発券機の位置が高く車窓から手が届かないので改善を望む。
- ・ 市民病院の設備などが、患者の障害などに対応できていないことがある。など、幅広い分野からさまざまな意見が出されました。



産業建設

テーマ

- ① 公共交通とまちのにぎわい
- ② 文化スポーツ振興など

いただいた主な意見や要望

- ・ フクリルの集客は、効果は予定通りなのか。
- ・ 現在進んでいる新文化ホールの計画に納得できない。
- ・ 乗車券事業について、免許を返納した人だけ優遇になっているのはおかしい。
- ・ オークストラ、アーティストもまた来たいと思えるようなものにしてほしい。
- ・ 新文化ホール計画に期待していたが、現計画に納得ができない。議員にもっと情熱を持ってこの件に当たってほしい。など、参加者が一番多いグループでもあり活発な意見が出されました。

今回いただいた貴重なご意見を今後の議会活動を通じて市政に反映させ



られるよう努めます。

本市議会では「議会報告会・市議会と語ろう」を1年間で団体の方向けと一般の方向けの2回行っております。

意見交換されたい団体の募集を随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

お詫び

ふくちやま市議会だよりNo.134の記事の中に誤りがありましたので、次のとおりお詫びして訂正いたします。

7ページ

市民の皆さんからの請願審査 請願者
(誤) 堀 明子氏 → (正) 堀 昭子氏

行政視察研修報告会を開催

市議会では、2月16日に、全議員および市民・市職員を対象に「行政視察研修報告会」を開催しました。



新政会の報告

この報告会は、会派による行政視察の成果を報告し、市政への反映や政策提言につなげることを目的としています。

今回は、令和5年度第2回目の報告会で、12月から2月に実施した会派の行政視察（先進地事例調査）の報告と意見交換を行いました。

なお、市議会ホームページで報告書を公開しています。また、報告会の様子は、ホームページの「委員会等の録画配信」から視聴できます。



報告書はこちら



録画配信はこちら

議長記者会見を開催

「本会議場の音響映像機器の更新」開催日 2月21日(水)

議会基本条例に基づき、議会からの情報発信として、議長による記者会見を開催しました。内容は、老朽化していた本会議場のマイクやカメラ、制御機器など、本会議の開催や議会中継に必要な機材の更新が完了し、令和6年3月定例会から運用を開始するというものでした。

また、「市民に開かれた議会」を推進するための新たな一歩として、今回の更新に併せて、傍聴席にヒアリングループや字幕表示モニターなど、傍聴者の聞きやすさ、分かりやすさを支援する設備を新たに導入したことをお知らせしました。

記者からは傍聴席の新たな設備について活発な質問があり、概要説明の後は、実際に議場で字幕表示の様子などを詳しく取材されました。



新たに設置した字幕表示モニター

令和5年度政務活動費を各会派へ精算交付

令和5年度政務活動費を各会派へ交付しました。

福知山市議会では、政務活動費として議員1人当たり年額18万円(令和5年度は5月改選のため年額16万5千円)を限度とし、上半期と下半期の支払実績に応じた完全後払いで交付しています。

また、政務活動の実績報告書、領収書、視察研修報告書の写しを市役所1階情報公開コーナーおよび市議会のホームページで公開しています。



政務活動費実績報告書などはこちらから

令和5年度政務活動費実績報告 【会派名・所属議員は令和6年3月1日現在】

(単位：円)

会派名	福知山市議会 公明党	日本共産党 福知山市会 議員団	蒼士会	無所属・ 維新議員団	地域政党 ふくちやま	新政会	対話の時代 (福知山 未来の会)	無会派 (足立治之)	地域政党 「ふくちやま 市民の声」	
交付限度額	495,000	495,000	555,000	330,000	210,000	1,005,000	585,000	105,000	180,000	
交付確定額	81,021	482,618	531,682	328,014	153,760	298,669	385,740	6,600	34,359	
支出内訳	調査研究費	31,761	31,761	35,921	21,174	0	297,973	37,535	0	22,550
	研修費	43,675	296,047	484,158	0	153,760	0	216,120	0	0
	広報費	0	64,614	0	295,080	0	0	131,039	0	0
	広聴費	0	0	0	7,580	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	9,250
	資料作成費	0	87,116	113	0	0	696	1,046	0	2,559
	資料購入費	5,585	3,080	11,490	0	0	0	0	6,600	0
事務所費	0	0	0	4,180	0	0	0	0	0	
備考			令和5年 5月22日・ 11月1日 人数変更		令和5年 11月20日 解散	令和5年 5月15日 人数変更	令和5年 11月1日 人数変更・ 会派名変更	令和5年 11月20日 解散	令和5年 11月20日 会派結成	

編集後記

3月議会は、令和6年度1年間をどのような予算付けで行政運営を行うか(当初予算)を決める大事な議会です。予算審査の模様は市議会ホームページから生で視聴できますし、数日後に録画視聴も可能です。議会だよりにギュッと内容を詰め込んでありますが、計20時間以上質疑などをしておりますので全ては伝えきれません。また今回は、市民が直接声を届けることのできる請願審査も5件ありました。代表質問に関しても熱量の高い質問ばかりです。スマホでも視聴可能です。よろしければ審査の模様をラジオ感覚でお聴きください。もちろん傍聴も喜んでお待ちしております。議会と市民がもっと身近になるよう一層努力してまいります。

(広報広聴委員会)

6月定例会の予定

6月定例会の日程は、5月28日開催(予定)の議会運営委員会で決定します。詳しくは、決定後、市議会ホームページなどでお知らせします。また、電話でのお問い合わせは、市議会事務局(0773-24-7031)まで

「元気やで福知山！」

No.49

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：塩見 聡・梶原 秀明

「子どもたちに憩いの場を」宿題サポートセンター

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

子どもたちの宿題の支援を行っている宿題サポートセンターを紹介いたします。退職教員で自主的にチームを組み、活動を始めて12年。会場となっている福天教育会館におじゃまして、センター長の大槻良夫さん（元小学校教員）にお話を伺いました。

Q 始められたきっかけは

A 退職教員でつづけている「退職教職員の会」で、子どもたちの学習状況が大変なので自分たちで学習に「つまづき」を抱えた子どもへの支援が何かできないか、という話になりました。それなら宿題をみることから始めることになりました。

Q どんなことを目的にしていますか

A 子どもの学習支援をするのとあわせて、多忙な先生たち、子どもへの勉強を見てあげる余裕のない保護者の皆さんを支援するのが目的です。

あるとき、子どもがたたくさん質問するので「担

任の先生に質問せんの」と尋ねたら「担任に聞けるくらいなら、ここには来ん」と言いました。学校現場は教師不足で先生たちが一人ひとりの子どもたちを丁寧に見てあげられるゆとりがなかなか持てません。また、子どもたちにも、ほっと一息つける場所が必要です。わがままも出ますが、叱らずに諭しながら教えるようにしています。

Q 一番うれしかったことは

A やはり子どもの成長が感じられたときです。卒業したあと、たまたま出会った保護者から感謝の言葉をいただいたときはうれしいです。



ゆったりと一人ひとり関わります



今年度もがんばりました

Q 困っていることは

A 一時はたくさんの子も来ましたが来ていました。一番多い時で36人、10の小学校から来ていました。ところがコロナ禍で中断し、人数が減ってしまいました。今は少しずつ増えていますが、もっと受け入れ人数を増やしたいです。

Q 今後の展望は

A ずっと続けていきたいですが、私たちも高齢化してきているので指導者の継承が必要です。学校にゆとりがなくなってきたので、退職してまで子どもに関わろうとする方があまりおられません。一方でいつまでも続けてやってほしいという地域の声も強いので、続けられる限り頑張りたいと思っています。



訪問した日はセンターの卒業式でした。二人の6年生がセンター長から卒業証書を受け取り、笑顔で巣立っていきました。

開校時間
月・金の午後4時から5時半まで

場所
北本町 福天教育会館 (22-2134)

会費
月額200円

連絡先
大槻良夫さん (080-2513-7755)

入所は随時受け付けています。会場の校区は昭和小学校ですが他校区でも受け入れていきます。ただし、遠方の方は送迎をお願いします。

広告

ジャンプしよう!

教学舎
KYOGAKUSYA

生徒募集中

ふくちやま教室 TEL.0773-48-9168

全教室で実施中!

開校10周年キャンペーン

無料体験1ヶ月後の入塾金 + さらに最大3ヶ月分の授業料が無料

むとべ教室 TEL.0773-21-4304